



「障がい」はどこにあるのか
— ジャン・バニエの思想と実践 —

2019.7.25 Thu. 18:00-20:30

● 参加費：1,000円
● 定員：先着20名

@豊中キャンパス・大阪大学会館2階 SSI豊中ラウンジ

大阪大学は、日本や世界が直面する様々な社会課題に対して解決方法を提示し、さらに学問的にも真理を追究するためのシンクタンクとして「社会ソリューションイニシアティブ (SSI)」を昨年4月に始動させました。SSIは「命を大切に、一人一人が輝く社会」を目指し、定期的なSSIサロンを開催して、喫緊の社会課題について研究者や実践家や学生の皆様とともに考えてまいります。

趣旨

日本では、14人に1人が体や心に「障がい」を抱えて生活しています。建物や交通機関などのバリア・フリー化が進められてきましたが、教育や雇用などの制度も含め、社会の仕組みは、やはり13人の「障がいを持たない人」を基準に作られているように思います。そして「障がいを持たない人」の心の中には、「障がいを持つ人」と向き合うことを避けようとする壁があるのではないのでしょうか。本当の「障がい」は、「障がいを持つ人」と「障がいを持たない人」のどちらにあるのでしょうか。今回は、ジャン・バニエ(1928-2019)が提示したこのような観点から活動をする方々をお招きし、「障がい」のない社会の構築について話し合います。

プログラム

- 18:00 開会挨拶 堂目卓生 SSI長・経済学研究科教授
- 18:10 話題提供 堂目卓生「ジャン・バニエによる発想の逆転」
佐藤言 社会福祉法人ラルシュかなの家 代表「ラルシュかなの家の生活で感じること」
横井圭介 社会福祉法人ラルシュかなの家 スタッフ「出会うこと」
高山千弘 エーザイ執行役員・知創部長
「human healthcare society 知識創造による共存社会の実現
— ラルシュでの共感を通じて人と社会の在り方を問う —」
- 19:10 ディスカッション (モデレーター: 栗本英世 SSI副長・人間科学研究科教授)
- 19:40 食事をとりながらのダイアログ
- 20:30 終了 (21時までには退出)

■ 後援: エーザイ株式会社

